

## 未来を築くコース会議2017～“対立”と向き合う～

# 第1回 基礎編 対立は悪くない！対立から学ぼう！

- 日時：2017年8月1日（土）10時09分～17時07分
- 場所：あいち国際プラザアイリスルーム
- 参加者：16人
- ファシリテーター：伊沢令子（NIED・国際理解教育センター）、記録：川合眞二（同左）
- 全体（全4回）のねらい
  - 対立とは何か、対立の定義や特徴などについて学び、対立という視点から世界と日本をふりかえる。
  - 社会で起きている様々な対立の原因を探り、対立解決のために必要なものや役立つことを考える。
  - 非暴力で建設的に対立を解決するスキルについて学び、より大きな対立解決に活かせるようになる。
  - 自分たちの未来を自分たちの手で仲間と共に実現していくコース・モデルとなる。
- 第1回のねらい
  - ① コース会議の目的、内容、進め方、スケジュールを確認し、コース会議の全体像を把握する。
  - ② 参加者どうし多角的に知り合い、それぞれの期待を共有し、学びあう場の共通基盤を作る。
  - ③ 対立の定義、種類、特徴について学び、対立という視点から日本や世界をふりかえる。

### ● プログラム

#### 1. 本会議の目的及びスケジュールの確認

#### アイスブレイキング ～まずは私たちから始めよう！～

2. フルーツバスケット～どんな人が来ているか知ろう！
3. 名刺で自己紹介
4. 参加の動機や期待の共有
5. カードで自己紹介
6. 4つのコーナー（机上バージョン）
7. グループ替え、一言自己紹介など

#### 私たちの多様性と同一性

8. 喜怒哀楽の感情のふりかえり
9. 怒りの温度計
10. グループ替え、一言自己紹介

#### 対立は悪くない～価値観は多様なのだから、同意できないこともある！～

11. 対立のメリット vs デメリット
12. 対立はどこにある？～対立の種類、特徴の理解～
13. グループ替え、一言自己紹介など
14. 対立を激化させるもの／緩和させるもの
15. 全体ふりかえり

## 1. 本会議の目的及びスケジュールの確認 10:09 – [20]

- **主催者あいさつ**…本会議の主催者として愛知県国際交流協会栗木課長があいさつし、ユース会議は4年目であることと開催の経緯を次のとおり説明した。  
「愛知万博では、120カ国の出展があり、楽しさと共に地球の中の課題解決の必要性を考えた。万博で学んだことを生かすため、120カ国の国際理解教育教材を作成した。一人ひとりが関わりながら国際交流や地球規模の課題を解決するため、若い人たちと共に進めていきたいと考えた。」
- **研修のねらいと進め方の説明**…ファシリテーターを務めるNIED・国際理解教育センターの伊沢代表があいさつし、本会議は、参加者が双方向に学び合う形式である「参加型」で行うこと、過去3年間のように課題を解決するためのプロジェクト立ち上げを目的とせず、対立を乗り越えるのスキルを身につけるために行うこと、「対立」をテーマに掲げたねらい、全4回の内容、スケジュール、ワークショップの意義や効果、第1回のねらいについてレジュメを基に説明した。



### アイスブレイキング ～まずは私たちから始めよう！～

## 2. フルーツバスケット～どんな人が来ているか知ろう！ 10:29 – [6]

- **ファシリテーターからお題出し**…全員が座れる状態で、ファシリテーターが質問を出し、該当する人が席を移動して、その様子を見てどんな人が来ているか知った。  
<出されたお題>①名古屋市内から来た人、②10歳代の人、③四季の中で夏が一番好きな人
- **参加者からお題出し**…4問後は参加者が自由に質問を出した。  
<出されたお題>④大学生の人、⑤休みの日は家にいるより外に出る派の人、⑥ここに来るまで1時間以上かかった人、⑦日本人じゃない人、⑧苦手な教科がある人、⑨海外に行ったことがある人

## 3. 名刺で自己紹介 10:35 – [26]

- **グループづくり**…4人グループを3つ作った。
- **自己紹介用の名刺づくり**…次の共通の4つのお題で自己紹介シート（A4用紙）を作った。  
① わたしのいいところ      ② 得意なこと  
③ 何系の人                      ④ 参加の動機
- **グループで自己紹介**…呼ばれたい名前を順に1人90秒程度で、自己紹介シートに補足を加えながらグループ内で伝え合った。
- **ファシリテーターからのコメント**…人は見た目だけでなく話してみないとわからない。自分と異なるものと出会った時に対立が起こる。人の多様性に会い、知り合うことから始めることが大切であると考え、多様な自己紹介を行う。



## 4. 参加の動機や期待の共有 11:01- [4]

- 全体で発表・共有…参加者が全体で自由に発言し、ファシリテーターが発言内容を板書する「ポップコーン方式」で、各自の参加の動機や期待を発表、共有した。

**発表内容** 「若い人と知り合う」、「自分の幅を広げる」、「ワークショップを楽しむ」、「対立について学びたい」、「海外のことに興味がある」、「若い人から学ぶ」、「暇つぶし」

- ファシリテーターからのコメント…お互いがみんなの期待に貢献しあえるとよい。

## 5. カードで自己紹介 11:05- [27]

- カード記述質問にグループ内で回答…机の上に置いた20枚の質問が書いてあるカードを次の手順で、グループ内で紹介しあうことで、多面的にお互いのことを知り合った。

- ・ラウンド①～③…カードを上から1枚ずつ取って質問の答えを伝え合う。
- ・ラウンド④…他のメンバーが引いたカードの中から1枚ずつ取って質問の答えを伝え合う。
- ・ラウンド⑤…カードを上から1枚だけ取って共通の質問の答えを伝え合う。



- ファシリテーターからのコメント…他のメンバーや自分自身に関する発見はあったか？対立を越える方法、平和を創り出す方法を考え、話し合うためには、話し合いが成り立つようにする必要がある。ひとは多面的にできている。一面だけ見て苦手意識を持ってしまうのはもったいない。人でも国でも、多面的多角的に知ること、理解の幅や深まりができる。

## 6. 4つのコーナー(机上バージョン) 11:32- [53]

- グループ替え…じゃんけんをして、勝った1人と負けた1人が他の2つのグループを移動した。
- グループ内で質問に4択で回答…ファシリテーターが出した次の質問に対して、グループ内で、「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいいえ」「いいえ」のカードで自分の考えを表明し、その理由を紹介しあった。

- ① 犬より猫が好き 6:7
- ② 人生に満足している 8:5
- ③ いじめ自殺はなくすることができる 9:4
- ④ 死刑制度には反対 7:6
- ⑤ 原発推進に賛成 2:10
- ⑥ 目玉焼きにはソースだ 1:11
- ⑦ 世界を平和にすることは可能だ 8:5



※ 数字は「はい系」:「いいえ系」の人数

- **ファシリテーターからのコメント**…死刑制度の賛成派は日本では8割。世界的にみると死刑制度を持っている国は少数。賛成派・反対派それぞれ言い分はある。自分の持論に固執していたら平行線である。そうではなく「どんな社会にしたいのか？」を考えていく必要がある。
- **わかったこと・気づいたことの共有**…「好みに関する質問、価値観の違いに関する質問で、感じ方は違ったか。少数派と多数派で気持ちはどうだったか。自分と違うカードを出した人の理由を聞いてみてどうだったか。」4つのコーナーをやってみてわかったこと、気づいたことをグループ内で伝え合い、A3用紙のまとめ、全体で発表・共有した。

#### 4つのコーナーをやってみて、わかったこと・気づいたことの発表内容

- ◇ 自分のない考えが勉強になった。 ◇ やっぱり人の話を聞くのは面白い！
- ◇ 自分の反対の意見でも聞いてみるとなるほどと納得できた。 ◇ 新しいことを発見できた。
- ◇ 知識と情報を踏まえて話し合えて、新しい情報が得られた。 ◇ 日頃話せないことを話せた。
- ◇ 多数派だと安心し、少数派だと不安になる。 ◇ 1つのことでもいろんな見方がある。
- ◇ 違う意見だった時に、自分が間違っているかと不安になったが、理由を聞いたら視点が違うだけだと気付いた。
- ◇ 好みの話は時間が短くていいけど、価値観や共通に決めなくてはいけないことは、じっくり話し合うべきだと思った。
- ◇ 自分の置かれている立場や環境が違うから意見は分かれる。話し合って共通理解することはとても重要なことだ。
- ◇ 人間よりも大きなものを視野に入れて判断することが大切である（特に命に関わること）。

★ お昼休み 12:25-[58]

## 7. グループ替え、一言自己紹介など 13:22-[12]

- **グループ替え**…番号を振って、グループ替えをした。
- **一言自己紹介**…「10日間の自由な時間と適度なお金があったら何をしたいか」をお題に、グループ内で簡単に自己紹介を行った。
- **午後から参加者へのフォロー**…午後からの参加者のために、全4回の会議の内容と第1回のねらいについて説明した。

## 私たちの多様性と同一性

## 8. 喜怒哀楽の感情のふりかえり 13:34-[35]

- **個人でのふりかえり**…個人の喜怒哀楽の感情をふりかえり、A4用紙にどんな時に自分はその感情になるかを書き出した。
- **共有と共通項探し**…グループ内で、自分の喜怒哀楽の内容を伝え合った後、人の喜怒哀楽の共通項を見つけて要素としてまとめた。その際、じゃんけんで、グループファシリテーターを決めて、その人の進行管理で行った。その後、全体で発表・共有した。



### 喜怒哀楽の共通項の発表内容

#### <喜：うれしい>

- ◇ 目標達成 ◇ 体調グッド ◇ 尊重された
- ◇ 美味しいもの ◇ お得があった
- ◇ 自分らしくいられる時

#### <哀：かなしい>

- ◇ 親しい人との別れ ◇ 自分の無力感
- ◇ やりたいことをどうしてもできない時
- ◇ 歳をとったなあと思う時
- ◇ 大切な人とのコミュニケーションがなくなる

#### <怒：おこれる>

- ◇ 批判された ◇ 約束破られた
- ◇ 目標達成できない ◇ 自分に負ける
- ◇ 悪口やいじわる ◇ 価値観の押しつけ

#### <楽：たのしい>

- ◇ 新しい発見 ◇ 友だちとのおしゃべり
- ◇ 何かに夢中 ◇ 自分の好きなことができる
- ◇ 人にいいことをしてあげられた時



- ファシリテーターからのコメント…喜怒哀楽の感情は、国や性別などの違いを超えて、同じように感じるもの（心の同一性）である。怒りや悲しみがなくなるとテロや紛争はなくなる。

## 9. 怒りの温度計 14:09- [11]

- 個人の怒りの感度調べ…ワークシート「あなたの怒りの温度を計ろう」にある①～⑦の怒りを伴う出来事に対して、自分だったらどう感じるかを6段階で回答した。

- ① もし誰かが私のことを告げ口したら
- ② もし誰かが私の物を借りて壊してしまったら
- ③ もし誰かのせいで、ひどい目にあったら
- ④ もし私がしてもいけないことで責められたら
- ⑤ もし自分の話を友達が聞いてくれなかったら
- ⑥ もし誰かが私の家族のことをからかったら
- ⑦ もし友達が私にとって重要な秘密を守らなかったら



- 全体で温度分布の確認…全体でどの段階が多いか挙手で確認した。

		① 告げ口 される	② 自分の物 壊される	③ ひどい目 に遭う	④ むげに 責められる	⑤ 聞いて もらえず	⑥ 家族非難 される	⑦ 秘密守ら れず
激怒する	0	0	1	0	0	2	2	
憤慨する	0	0	1	2	0	0	0	
怒る	2	1	5	7	0	7	12	
イライラする	8	3	4	3	5	3	2	
気にさわる	4	8	5	3	10	3	0	
気にしない	1	1	0	0	1	0	0	

- ファシリテーターからのコメント…どうしてそんなに怒っているの？と感ることがないか。怒りの感情は、人によって幅がある。同一性のある人の感情にも多様性があることを覚えておくことが大切である。

## 10. グループ替え、一言自己紹介 14:20 - [8]

- グループ替え…これまで同じグループになっていない人を探して同士でグループになった。
- 一言自己紹介…「もしも何にでも生まれ変われるとしたら」をお題に、グループ内で自己紹介を行った。

対立は悪くない～価値観は多様なのだから、同意できないこともある！～

## 11. 対立のメリット vs デメリット 14:28 - [15] →別添成果1参照

- 対立の定義の確認…ファシリテーターが板書した定義「2人以上の人の中で起こる意見の不一致または口論」を確認した。
- 対比表ブレインストーミング…グループ内で、対立のメリットとデメリットを、ブレインストーミングで書き出した。
- 他のグループアイデアの共有…模造紙を回し読みして、他のグループのアイデアを共有した。その際、なるほどと思ったアイデアに☆印を付けた。
- ファシリテーターからのコメント…対立は避けるものと学ぶことが多い日本であるが、対立自体は悪くない！ 対立が起きた時の対処を学ぶ必要がある。



## 12. 対立はどこにある？～対立の種類、特徴の理解～ 14:43 - [51] →別添成果2参照

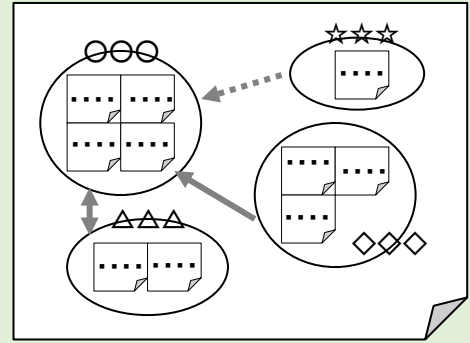
- 対立の場面や原因の書き出し…対立と思うことや場面、原因を各自思い起こし、付せん紙1枚に1項目ずつ、7つ以上書き出した。
- 付せん紙の分類・整理…グループ内で、次の手順で進める方法で、付せん紙を模造紙上で分類・整理した。

### <カード式整理法 (KJ法) の進め方>

- ① 1人目が付せん紙に書いたことを読み上げ模造紙に貼る。
- ② 同じようなことを書いた人は、並べて貼る。
- ③ 以降、順に読み上げ、同様に並べて貼る作業を全員の付せん紙がなくなるまで行う。
- ④ 同じような付せん紙を線で括り、タイトルを書く。

### <まとめるうえでのポイント>

- ◇付せん紙に書いたことを説明しない。質問はOK。
- ◇何でも一緒にしない。8~10カテゴリーにする。
- ◇1人が一気に出示してしまわない。順番に出示合う。 ◇1人で黙々とせず、グループ協力して行う。



- 全体で発表・共有…分類・整理した結果と気付いたことなどを全体で発表・共有した。
- ファシリテーターからのコメント…対立には至る場面で様々あり、対立の原因は、①ものを巡るもの、②価値観の違いによるもの、③好みによるものの3つに分けられると言われている。対立解決を考えるうえで、対立についての特徴 (種類や原因) を理解すると扱い易いため、このような整理を行った。また、「対立は、その当事者のどちらかが解決しようと思わなければ、感情を伴って激化する。」=対立のエスカレーターとも言われている。段階を上れば上るほど降りづらくなる。階段の最上部は殺し合い (戦争) となる。



★ 休憩 15:34-[12]

## 13. グループ替え、一言自己紹介など 15:46-[4]

- グループ替え…グループ内で1~4番を決めて、同じ番号の人とグループになった。
- 一言自己紹介…「最近の喜怒哀楽」をお題に、グループ内で簡単に自己紹介を行った。
- ここまでのふりかえり…ここまでの「対立」のワークについて、ファシリテーターがふりかえり説明した。

## 14. 対立を激化させるもの/緩和させるもの 15:52-[67] →別添成果3参照

- 対立を激化させるロールプレイ…グループで、場面設定し、対立が激化する3分以内の寸劇 (ロールプレイ) を考え、配役を決めた。その後、全体で、対立が激化する次の寸劇をロールプレイした。
  - ① インドに画家留学したい子と親
  - ② アメリカ・メキシコ・イラン・日本の国家間
  - ③ 会社における上司と女性社員
  - ④ ダブルブッキングした友人間
- 対立を激化させる要素出し…自分たちの寸劇と他のチームの寸劇を振り返って、対立を激化させた要素を考え、対立のエスカレーターイラスト (模造紙) に書き込んだ。



- **他のグループアイデアの共有…**ギャラリー方式で、他のグループの模造紙を見て回った。その際、なるほどと思ったアイデアに☆印を付けた。ループで、見てきた他のグループアイデアを2つ共有し、自分たちの模造紙に書き足した。



- **対立を緩和させる要素出しと共有…**寸劇を振り返り、エスカレーターの階段を降り、対立を緩和させるものには何があるか考え、対立のエスカレーターイラストの下側に書き出し、全体で4つずつ発表・共有した。
- **対立を緩和させる実践宣言…**各自、対立を緩和させるものの中から3つ選んで実践できるように覚え、グループ内で宣言した。
- **ファシリテーターからのコメント…**対立を緩和させる方法をみんな知っている。しかし、わかっていることとできることは違う。ぜひ覚えた3つについては日頃実践できるとよい。対立に出会った時の対応の仕方としては6つのパターン (①攻撃する、②協働する、③妥協する、④あきらめる、⑤逃避又は後回し、⑥権威又は第3者に訴える) がある。どれが良い悪いはないが、メリット・デメリットがある。建設的な対立の解決の3要素は、①非暴力である、②両者が望んでいることが手に入る、③お互いの関係性がよりよくなることである。

## 15. 全体ふりかえり 16:59- [8]

- **グループ内で共有…**第1回全体を通して、発見したこと・感じたことを、グループ内で伝え合った。
- **全体で共有…**グループで1人ずつ、全体で感想を発表した。

### 第1回を通して、発見したこと・感じたことの発表内容

- ◇ 新しい人と出会え、年齢も様々。対処する方法も考えられた。とにかく楽しかった。
- ◇ 身近なところで対立しているので直していきたい。ワークショップは楽しい。教員をめざしているので生かしたい。
- ◇ 怒りの温度が人によって違うのが面白かった。経験に基づいて対立を緩和する方法が考えられてよかった。
- ◇ 普段は自分の意見を言うのが恥ずかしいけど、この会議では自分の意見を言え、人の意見も聞けてよかった。

★17:07 終了 お疲れ様でした！！

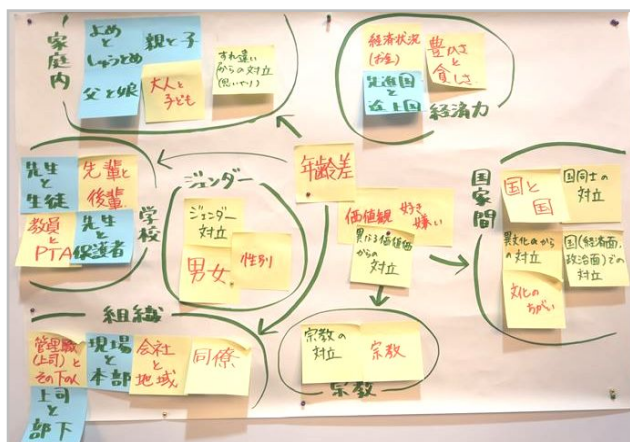


■ **別添成果1 対立のメリット・デメリット** ※数字…「いいね！」数

チーム	メリット	デメリット
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ よりよいものが生まれる [4]</li> <li>◇ コミュニケーションが生まれる [3]</li> <li>◇ 新しい折衷案ができる [2]</li> <li>◇ 自分が思いつかなかったことに気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 多数派ばかり優位になる [11]</li> <li>◇ 勝ち負けを考える [5]</li> <li>◇ なかなか決まらない、時間がかかる [3]</li> <li>◇ 暴力に発展する可能性がある</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 積極性が増す [7]</li> <li>◇ 相手と向き合うことができる [4]</li> <li>◇ 違う視点から見ることができる</li> <li>◇ 意見が深まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 複雑になる [4]</li> <li>◇ 解決するまで時間がかかる [2]</li> <li>◇ 気分が良くはない [2]</li> <li>◇ 争いが起こる</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 競争心が生まれる [11]</li> <li>◇ 違う視点で考えることで勉強になる [3]</li> <li>◇ 相手のことがわかるようになる</li> <li>◇ 新しいアイデアが生まれる</li> <li>◇ 仲良くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 疲れる [7] ◇ 関係が続かない [1]</li> <li>◇ 嫌な思いをすることもある [4]</li> <li>◇ 人間関係も悪くなることもある [3]</li> <li>◇ コミュニケーションを続けたくない</li> <li>◇ 答えがなかった場合、けんか・暴力・戦争に</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 言い合える関係になれる [4]</li> <li>◇ お互いの意見が深められる</li> <li>◇ 新しい意見を知ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ その他のことにも影響していく [9]</li> <li>◇ その場の空気が悪くなりやすい [4]</li> <li>◇ 解決 (和解) まで行きにくい (遠い) [2]</li> </ul>

■ **別添成果2 対立が生まれる場所・原因 (発表内容のポイントを板書したもの)**

種別	
場	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 国と国 ◇ 先進国と途上国 ◇ 国と国民 ◇ 身近→世界 ◇ 職員会議</li> <li>◇ 男と女 ◇ 家族 ◇ 嫁と姑 ◇ 父と娘 ◇ 組織の上司と部下</li> <li>◇ 国会 ◇ 裁判所 (被告と原告) ◇ 電車の中 ◇ 種と異種 ◇ 年齢差</li> <li>◇ 学校 ◇ 先生と生徒 ◇ 教員とPTA ◇ クラスメイト ◇ 先輩・後輩</li> <li>◇ スポーツチーム ◇ 店と店 ◇ 会社と地域 ◇ 現場と本部 ◇ 近所</li> </ul>
モノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 領土 ◇ 利益・利害 ◇ 既得権 ◇ 富をめぐる ◇ お金</li> </ul>
価値観	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 夫婦喧嘩 ◇ 教育の考え方 ◇ 仕事の方針 ◇ 宗教 ◇ 政治 ◇ 文化</li> <li>◇ 人種・民族の違い ◇ 環境と歴史の違いを受け入れない</li> <li>◇ 年齢による考え方の違い ◇ ジェンダー ◇ 負かすことが目的</li> </ul>
好み	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 好き嫌い ◇ 旅行 (どこに行くか)</li> </ul>



■ **別添成果3** 対立を激化させるもの／緩和させるもの（4チームの総合） ※数字…「いいね！」数

激化させるもの（言葉・態度・その他の要因）	対立の緩和に役立つこと
◇ マナー・モラル・礼儀のなさ [10]	◇ インターバルの期間を設ける（時間を空ける）
◇ 自分が正しい！・悪くない [9]	◇ マナー・モラル・礼儀を持つ
◇ 偏った情報 [8]	◇ 譲り合う
◇ 価値観の押しつけ [6]	◇ きちんと謝る
◇ 嘘をつく [6]	◇ 落ちつく
◇ 話し合いを求めない [5]	◇ 代替案を考える
◇ 折衷案がない [5]	◇ 第三者が客観視する（仲介役を求める）
◇ 制裁をちらつかせる [5]	◇ どちらの味方もしない中間に入る人
◇ 自己中心 [5]	◇ 人の話を聞く
◇ 間接的に伝える [4]	◇ 自分の意見だけでなく相手も考えて言う
◇ お互いが感情的・高圧的になる [3]	◇ 自分の利益だけを優先しない
◇ 手が出る [3]	◇ 相手を認める
◇ 武力行使 [3]	◇ 論理的になる
◇ 一方的な関係の拒絶 [3]	◇ 視点を広げる
◇ チーム意識 [3]	◇ 同じ立場で話す
◇ マイナス面を見ずやりたいことを突き通す [3]	◇ 問題の本質を一緒に考える
◇ 相手への態度（謝罪しない） [2]	◇ すぐに反応せずよく考える
◇ 相手を全否定 [2]	◇ 自分にも非があるかもと疑って見直す
◇ 上から目線 [2]	◇ 優しい態度で笑ってみる
◇ 自分より多い人(複数)からの批判 [2]	◇ ルールを作る
◇ 感謝しない [2]	◇ ウソをつかない
◇ 強い者に従え [2]	◇ 相手の利益も考える
◇ ズレがある中で一方の意見の強制 [1]	◇ 多様な視点で見る
◇ 相手の気持ちを考えない [1]	◇ 親しき仲にも礼儀が必要だと知っておく
◇ 心を閉ざす [1]	◇ 本当の事を言う
◇ 逆ギレ [1]	◇ 今後どうなるか行き先を考える
◇ 屁理屈を言う [1]	◇ 冷静になるために1回忘れる
◇ 理解しようとしな	◇ 人は多様だということを知っておく
◇ 感情的になる	◇ 相手のありのままを受け入れる
◇ 間に入らず一方の方を持つ	◇ 対立を解消しようという姿勢を持つ
◇ 女のくせにジェンダーの押しつけ	◇ 相手に対して感謝できることを探してみる

